


父(クリス・フェルプス/ドミナス・ケイマス・アドヴィム)から息子(ジョシュ・フェルプス)へと受け継がれるワイン造りのDNA

父クリス・フェルプスは、ドミナスで12年間、ケイマスで7年間、スワンソンで12年間ワインメーカーを勤め、現在は、イングルヌック他いくつかのナバ・ヴァレー・ワイナリーのコンサルタントしながら自身のワイナリー・アドヴィムでワインを造る。その息子ジョシュ・フェルプスはセント・ヘレナ育ち、父の元ナパっ子として育つ。いくつかのワインビジネスを経験した後、信頼できる農家や幼なじみなどの草の根的なコネクションを活かしたオール・アメリカンなワインレーベル、グラウンデッド・ワイン・カンパニーを設立。ジョエル・ゴット、故レスリー・ラッド、父クリス・フェルプスからインスピレーションを受け、父のアドバイスを受けながら「伝統、土壌、そしてシンプルさを基盤とした、場所の感覚(テロワール)を呼び起こすワイン」を造る。ステディ・ステートはナバの伝統を大切にしたいワイン。

GROUNDLED WINE Co.

商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量(ml)	希望小売価格	摘要
	Steady State Cabernet Sauvignon Napa Valley	Napa Valley	赤	2019	750	¥8,500	
	ステディ・ステート カベルネ・ソーヴィニヨン ナバ・ヴァレー	Napa Valley					
	Cabernet Sauvignon 80%, Merlot 20% ナバ・ヴァレー各地の畑をヴィンテージ毎にセレクトするが、主にオークヴィル、オークノール、ザフォード、セント・ヘレナなど。仏産樽熟成(新樽40%) ルビーレッドの色合い、フレッシュなカシスと熟したブラックチェリー、パウダリーなココアとアニスが魅力的な香が重なる。ピロードのようなタンニンの官能的な口当たりを、ブラックベリー、モカ、リコリスの味わいが強調し長いフィニッシュへと導く。						



GROUNDLED WINE Co. グラウンデッド・ワイン・カンパニー

"Grounded in heritage, grounded in soil, grounded in simplicity ."

グラウンデッドワインカンパニーの使命は、伝統、土壌、そしてシンプルさを基盤とした、場所の感覚(テロワール)を呼び起こすワインを造ること。魅力的でクリーンで、バランスが良く、お手頃、且つ品質と経験を重視したテロワール主導のワインを生産する。信頼できるサスティナブルな畑からの葡萄を使用。ワインメーカーであるジョシュ・フェルプスのパーソナルブランド。

父から息子へと受け継がれるワイン造りの DNA

ジョシュ・フェルプスはセントヘレナ出身。国際的に尊敬されるワイン・メーカーである父クリス・フェルプスの元ワインビジネスの中で育った。

2010年、若干24歳にしてティクン・ワイン・カンパニーを共同で立ち上げ、2015年には各界で活躍する30歳未満のイノベーターを表彰するForbes誌の"30 under 30"を受賞。2017年に同社の共同オーナーであるトリンチェロ・ファミリーに自分の持ち株を売却し独立。信頼できる農家や幼なじみなどナバで育った彼だからこそ草の根的なコネクションを活かしたオール・アメリカンなワインレーベル、グラウンデッド・ワイン・カンパニーを設立。ジョエル・ゴット、故レスリー・ラッド、そしてもちろん、父であるクリス・フェルプスからインスピレーションを受ける。

父、クリス・フェルプスは、ボルドーにて、シャトー・ペトリュスの醸造長であったジャン・クロード・ベルエ、クリスチャン・ムエックスの薫陶を受ける。その後、ドミナスで12年間、ケイマスで7年間、スワンソン・ヴィンヤードで12年間ワインメーカーを勤める。現在は、自身のワイン「アドヴィム」に加えイングルヌック等、いくつかのワイナリーのコンサルティング・ワインメーカーとして活動する。父クリスはグラウンデッド・ワイン・カンパニーのワインメイキングを指導し、息子クリスはアドヴィムをビジネス面で支える。



クリス&ジョシュ・フェルプス



ステディ・ステート カベルネ・ソーヴィニヨン ナバ・ヴァレー
Steady State Cabernet Sauvignon Napa Valley 2019

希望小売価格 8,500円(税別)

Steady State=定常状態：一定して変わらない状態。自然科学の各分野で用いられる概念

ナバ・ヴァレーが現在まで築き上げてきた安定した評判は将来も変わらず続く(Steady State)。ナバで育ち、その伝統から多くを学ぶことに対するオマージュとして、このコンセプトを掲げる。

畑情報：ヴィンテージごとにセレクトするが、主に Oak Knoll District, Oakville, Rutherford, St. Helena 他、親交のある栽培家から葡萄を調達。**セバージュ**：カベルネ・ソーヴィニヨン 80%/メルロ 20%

ヴィンテージ情報：2019年シーズンは生育期に先立ち豊富な降雨があり、涼しい春から暖かい夏の間、キャノピーの良好な生育を促進した。9月~10月の収穫期は乾燥した穏やかなコンディションとなり、ラザフォードのカベルネ・ソーヴィニヨンとオークノールのメルロのブロックは均一に成熟し、10月上旬の涼しい時間帯に最適な熟度で葡萄を収穫することができた。

醸造：優しく除梗・選別した後、厳選した酵母でステンレスタンクで発酵。果皮浸漬は3週間。仏産樽熟成(新樽比率40%)

テイasting・ノート：外観は全体的にルビーレッドでエッジはスマイレ色。フレッシュなカシスと熟したブラックチェリーの魅力的なアロマに、パウダリーなココアとアニスの香が重なる。口中ではピロードのようなシルキーなタンニンの官能的な口当たりを、ブラックベリー、モカ、リコリスの味わいが強調し長いフィニッシュへと導きます。